



教育支援

… 質の高い学びにより区立学校の魅力を向上する …

令和5年1月30日
令和5年度予算案記者発表

子どもたちや学校を取り巻く環境は大きな変革の時期

新型コロナウイルス感染症の影響 都立高校入試の英語スピーキングテスト導入
 デジタル教科書の普及 地域や学校への愛着の希薄化 部活動の地域移行

令和5年度 区立小・中学校における質の高い学びを支える新たな支援強化

1

子どもの学びへの直接的な支援

学校2020レガシー事業
 放課後オンライン英会話
 教室の実施
 マイスクールPRコンペティション

2

魅力ある学びを提案する教員への支援

★ 部活動指導員の導入
 ★ 教科担任制の導入
 学級運営支援講師の導入
 学校図書館運営の充実

3

教育環境の充実による学びの支援

校内LANの基幹ネットワークを
 10Gbpsの
 高速ネットワークに対応
 学校給食での食育の推進

変化の激しい時代にあった港区特有の教育課題の解決を推進！

都内
初区立中学校の**全部活動**に**部活動指導員**を配置

1億3,070万円

全ての区立小学校で**教科担任制**を実施

8,416万円

部活動指導員

POINT

生徒が質の高い指導を継続的に受けられる環境を整えるとともに、
教員の働き方改革を推進

■配置校 全ての区立中学校(10校)

■指導内容

■全部活動数 107

・実技指導 ・保護者への連絡

■開始時期 令和5年4月

・学校外での活動(大会など)の引率 など

土・日や
長期休業中も
指導員が対応!

教科担任制

POINT

モデル校4校で全国に先駆けて区独自に実施していた教科
担任制を拡大し、**全ての区立小学校**で実施

■対象学年 区立小学校(19校)の高学年

■開始時期 令和5年4月

■実施内容 各校に会計年度任用講師1名を配置 (対象教科:外国語・理科・体育・社会)

